

救 急 救 助 統 計

～ 令 和 6 年 ～



令和 7 年延岡市消防出初式車両行進



延 岡 市 消 防 本 部

目 次

I 救 急 編

第1章 令和6年の救急活動概要(救急出場件数と搬送人員)	1
第2章 令和6年の救急活動状況	4
1 事故種別の救急出場件数及び搬送人員	4
(1) 事故種別の救急出場件数及び搬送人員	4
(2) 事故種別の出場件数の推移	5
(3) 事故種別の傷病程度別搬送人員	6
(4) 事故種別(急病)の疾病分類別の年齢区分と傷病程度	7
① 急病における疾病分類別の年齢区分別搬送人員	7
② 急病における疾病分類別の傷病程度別搬送人員	8
2 年齢区分別の搬送人員	9
(1) 年齢区分別の搬送人員(対前年比)	9
(2) 年齢区分別の傷病程度別搬送人員	9
(3) 年齢区分別の事故種別搬送人員	10
(4) 高齢者(満65歳以上の者)の搬送状況	10
3 傷病程度別の搬送人員	11
(1) 傷病程度別の事故種別搬送人員	11
(2) 傷病程度別の年齢区分別搬送人員	11
4 地区別の救急出場件数及び搬送人員	12
(1) 地区別の事故種別出場件数	12
(2) 地区別の傷病程度別搬送人員	13
(3) 地区別の救急出場件数	13
5 月別・曜日別、時刻別の救急出場件数及び搬送人員	14
(1) 月別の救急出場件数	14
(2) 曜日別の救急出場件数	14
(3) 時間帯別の事故種別救急出場件数	15
(4) 休日夜間活動状況	16
6 救急活動の内容	17
(1) 救急隊員の行った応急処置	17
7 応急手当の普及啓発	18
(1) 応急手当講習の実施状況	18
(2) 救急蘇生統計	18

8 医療機関等への搬送状況	19
(1) 医療機関別搬送状況	19
(2) 診療科別搬送人員	19
(3) 病院別搬送人員	20
(4) 不搬送の原因別出場状況	21
(5) 病院間合せ平均回数	21
(6) 救急支援(PA連携)出場状況	21
(7) ドクターヘリ活動状況	22
(8) ドクターカー活動状況	23

Ⅱ 救 助 編

第3章 令和6年の救助活動概要	24
第4章 令和6年の救助活動状況	24
1 事故種別ごとの救助出場件数及び救助人員	24
2 月別の救助出場件数	25
3 曜日別の救助出場件数	25
4 地区別の事故種別救助出場件数	26
5 年齢別の要救助者数	26

第1章 令和6年の救急活動概要

令和6年中の救急活動状況は、出場件数は6,697件(対前年比22件増)、搬送人員は5,609人(対前年比118人増)で救急出動件数、搬送人員ともに増加となりました。延岡市は平均すると、1日約18件の出場、約15人の搬送となります。そのうち、65歳以上の高齢者の搬送人員は4,017人で、全体の71%を占めています。

このような現状の中、救急隊が傷病者を病院搬送するまでの間に心肺停止状態となった症例123名の内、2名が社会復帰をされています。

消防本部では119番通報時に目撃のある心肺停止傷病者、重症傷病者に対し、早期の胸骨圧迫や除細動(AED)などの口頭指導を実施しております。さらに、令和6年12月より、119番映像通報システムを導入し、口頭指導の充実を図っています。また、一般市民に対して救命講習を開催しており、令和6年は、救命講習を202回・3,734人に実施しました。

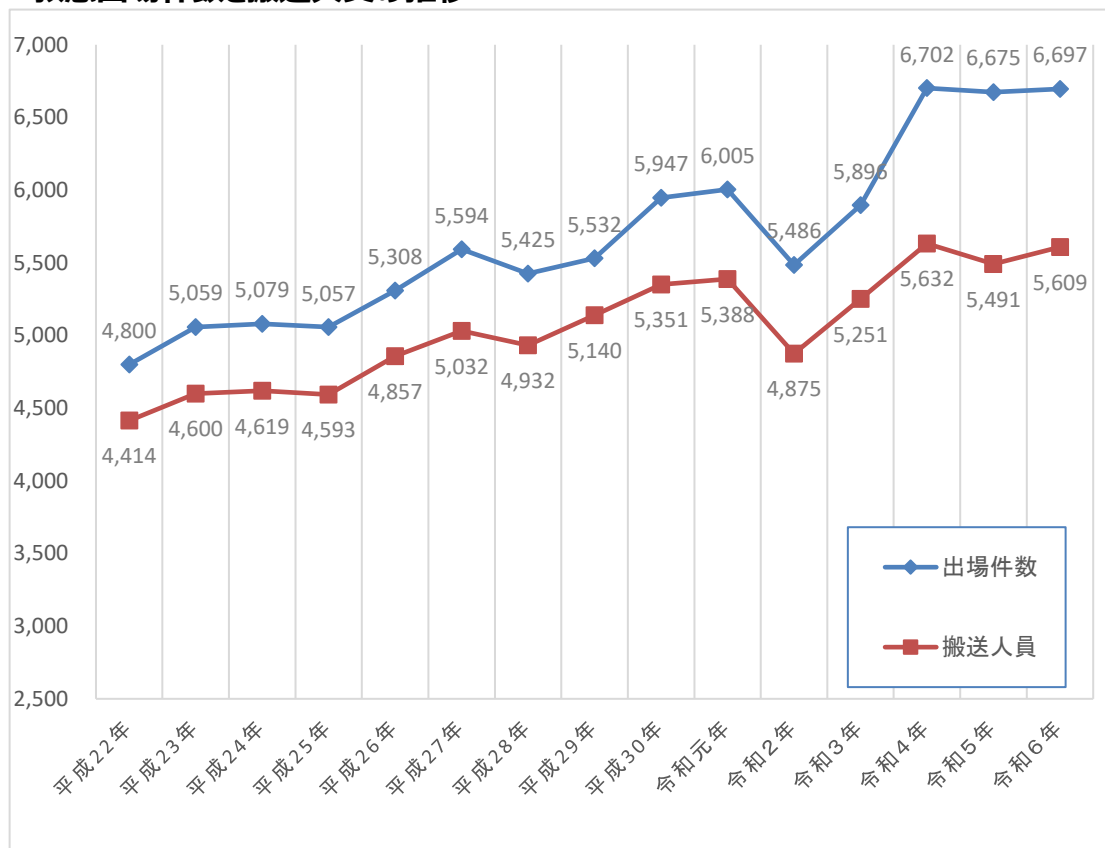
重症事案や高層階事案など救急隊のみでは活動困難な場合に、救急車と共に消防車等が出場するPA連携は、652件となっており、特にCPA案件のPA連携は308件の出場となっています。直近の消防隊が、いち早く傷病者へ接触して観察を行い、適切な応急処置による救命率の向上など、より良い市民サービスを提供することができます。また、救急現場のマンパワー充実により、これまで以上に安全かつ確実な活動が可能となり、より早く医療機関へ搬送することができます。

令和6年の延岡市管轄内における宮崎県立延岡病院の救急車型ドクターカーの要請件数は122件、出場件数は116件となっています。ドクターカーは、医師の搭乗の他、高度な医療資器材を積載しており、早期の医療介入が可能となり、検査治療を行いながら病院へ搬送することができます。傷病者の救命、そして社会復帰を目指した活動のため、医療機関と連携しながら活動を実施しています。

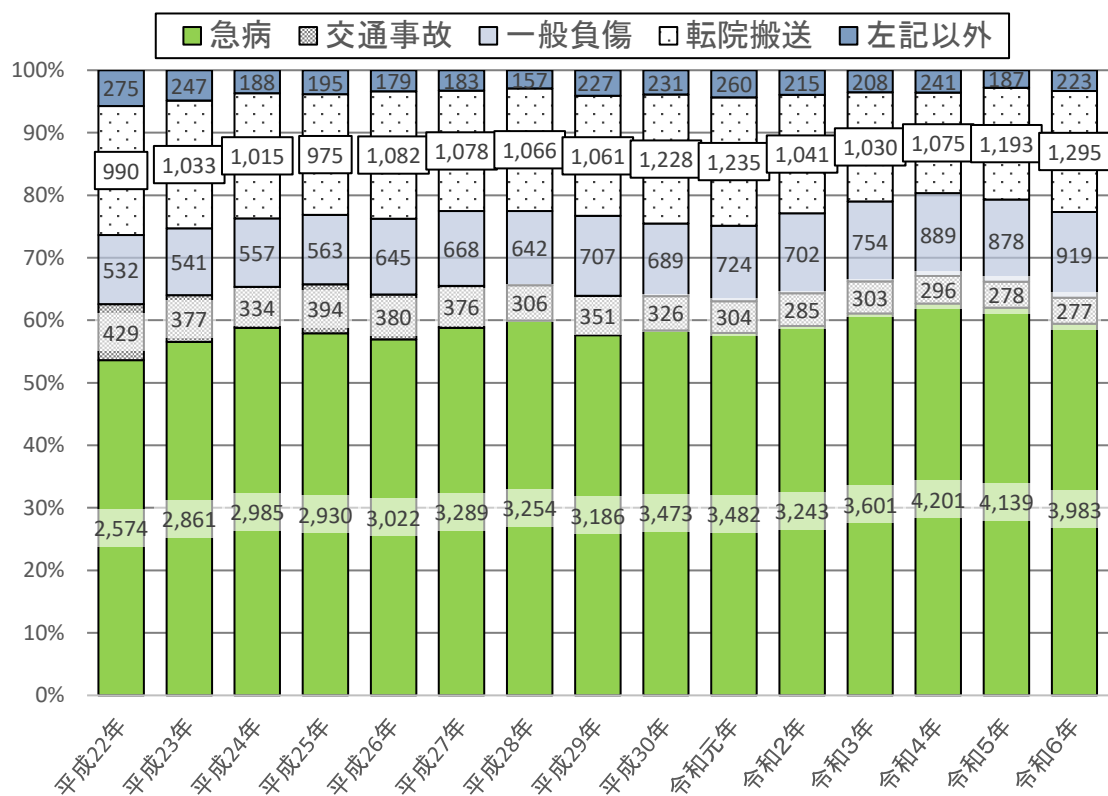
令和5年の救急出場件数と搬送人員

		出 場 件 数			搬 送 人 員		
		令和6年	令和5年	増減数	令和6年	令和5年	増減数
火	災	24	24	0	2	4	▲ 2
自 然	災 害	5	2	3	1	1	0
水 難	事 故	9	2	7	4	0	4
交 通	事 故	277	278	▲ 1	224	241	▲ 17
労 働	災 害	57	44	13	55	38	17
運 動	競 技	43	34	9	42	31	11
一 般	負 傷	919	878	41	762	737	25
加	害	25	8	17	17	6	11
自 損	行 為	43	53	▲ 10	26	35	▲ 9
急	病	3,983	4,139	▲ 156	3,183	3,207	▲ 24
そ の 他	転 院 搬 送	1,295	1,193	102	1,292	1,187	105
	医 師 搬 送	3	0	3	0	0	0
	資 器 材 搬 送	0	0	0	0	0	0
	そ の 他	14	20	▲ 6	1	4	▲ 3
計		6,697	6,675	22	5,609	5,491	118

救急出場件数と搬送人員の推移



事故種別の救急出場件数と構成比の推移

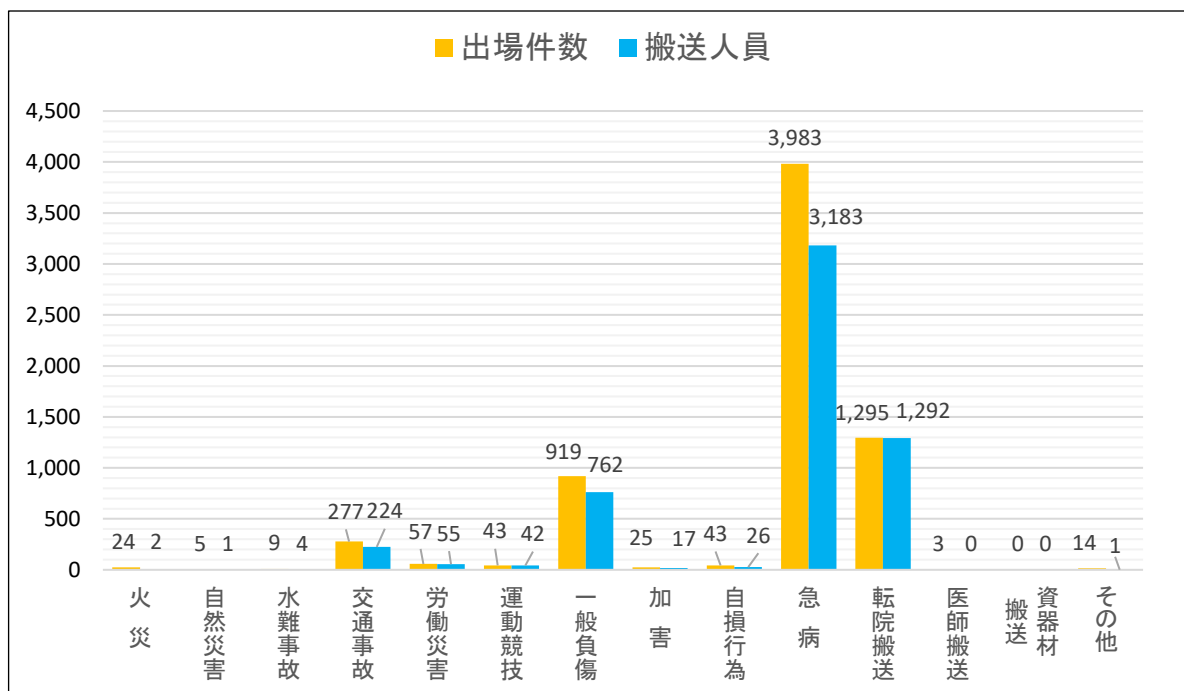


事故種別で見た出場件数では、急病が大半を占め3,983件(全体の59%)となっており、前年の4,139件(62%)より156件減少しています。次いで、転院搬送が1,295件(全体の19%)で、前年より102件増加しました。

また、一般負傷が919件(全体の13%)で、前年より41件の増加、交通事故が277件で1件の減少、労働災害が57件で13件の増加となっています。

市北部を管轄とする延岡北救急隊の出場件数は、1,402件(全体の20%)となり、前年の1,440件から2件増加しました。市南部管轄の延岡南救急隊は、1,571件(全体の23%)となり、前年の1,621件から50件減少しました。

事故種別の救急出場件数と搬送人員



管内における救急出動件数の内訳

	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	医師搬送	資器材搬送	その他	計
出場件数	24	5	9	277	57	43	919	25	43	3,983	1,295	3	0	14	6,697
本署	11	2	6	167	29	22	506	18	21	2,053	878	3	0	8	3,724
北分署	4	2	1	53	21	15	208	4	11	896	183	0	0	4	1,402
南分署	9	1	2	57	7	6	205	3	11	1,034	234	0	0	2	1,571
搬送人員	2	1	4	224	55	42	762	17	26	3,183	1,292	0	0	1	5,609
本署	0	1	3	125	25	21	400	13	13	1,521	835	0	0	0	2,957
北分署	1	0	1	54	23	15	194	3	6	852	227	0	0	1	1,377
南分署	1	0	0	45	7	6	168	1	7	810	230	0	0	0	1,275

第2章 令和6年の救急活動状況

1 事故種別の救急出場件数及び搬送人員

(1) 事故種別の救急出場件数及び搬送人員

事故種別の救急出場件 (対前年比)

(単位：件)

事故種別		令和6年		令和5年		対前年比	
		出場件数	構成比(%)	出場件数	構成比(%)	増減数	増減率(%)
火	災	24	0.4	24	0.4	0	0.0
自	然 災 害	5	0.1	2	0.0	3	150.0
水	難 事 故	9	0.1	2	0.0	7	350.0
交	通 事 故	277	4.1	278	4.2	▲ 1	▲ 0.4
労	働 災 害	57	0.9	44	0.7	13	29.5
運	動 競 技	43	0.6	34	0.5	9	26.5
一	般 負 傷	919	13.7	878	13.1	41	4.7
加	害	25	0.4	8	0.1	17	212.5
自	損 行 為	43	0.6	53	0.8	▲ 10	▲ 18.9
急	病	3,983	59.5	4,139	61.8	▲ 156	▲ 3.8
そ の 他	転 院 搬 送	1,295	19.3	1,193	17.8	102	8.5
	医 師 搬 送	3	0.0	0	0.0	3	
	資 器 材 搬 送	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	そ の 他	14	0.2	20	0.3	▲ 6	▲ 30.0
計		6,697	100	6,675	100	22	0.33

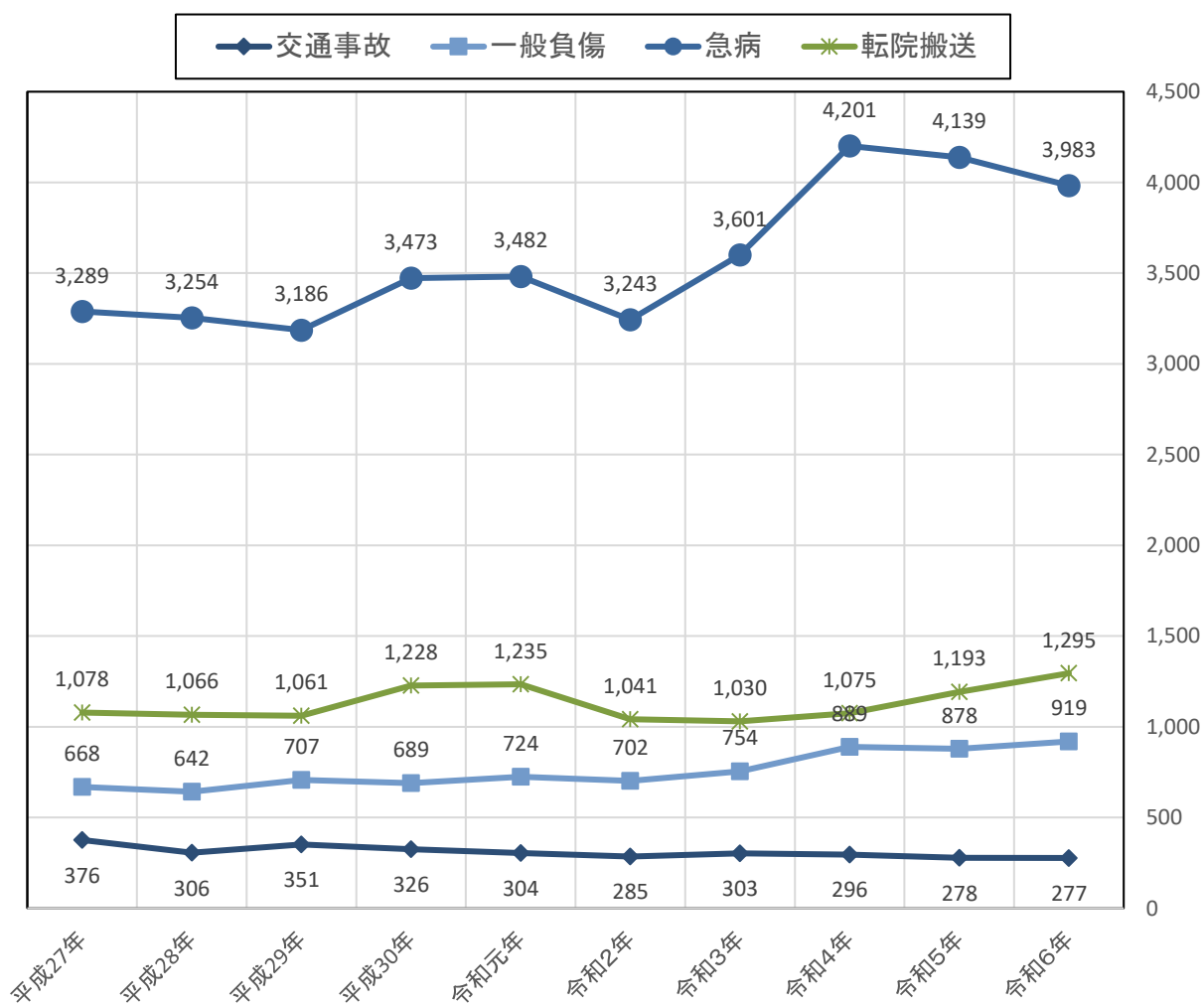
事故種別の搬送人員 (対前年比)

(単位：件)

事故種別		令和6年		令和5年		対前年比	
		搬送人員	構成比(%)	搬送人員	構成比(%)	増減数	増減率(%)
火	災	2	0.0	4	0.1	▲ 2	▲ 50.0
自	然 災 害	1	0.0	1	0.0	0	0.0
水	難 事 故	4	0.1	0	0.0	4	0.0
交	通 事 故	224	4.0	241	4.3	▲ 17	▲ 7.1
労	働 災 害	55	1.0	38	0.7	17	44.7
運	動 競 技	42	0.7	31	0.6	11	35.5
一	般 負 傷	762	13.6	737	13.1	25	3.4
加	害	17	0.3	6	0.1	11	183.3
自	損 行 為	26	0.5	35	0.6	▲ 9	▲ 25.7
急	病	3,183	56.7	3,207	57.2	▲ 24	▲ 0.7
そ の 他	転 院 搬 送	1,292	23.0	1,187	21.2	105	8.8
	医 師 搬 送	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	資 器 材 搬 送	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	そ の 他	1	0.0	4	0.1	▲ 3	▲ 75.0
計		5,609	100	5,491	98	118	2.15

(2) 事故種別の出場件数の推移

		出 場 件 数									
		平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
出場件数		5,594	5,425	5,532	5,947	6,005	5,486	5,896	6,702	6,675	6,697
火 災		24	21	25	25	25	24	19	37	24	24
自 然 災 害		0	2	5	3	5	3	4	5	2	5
水 難 事 故		2	8	3	5	7	4	3	7	2	9
交 通 事 故		376	306	351	326	304	285	303	296	278	277
労 働 災 害		39	22	45	43	39	39	43	51	44	57
運 動 競 技		42	28	45	32	41	29	26	31	34	43
一 般 負 傷		668	642	707	689	724	702	754	889	878	919
加 害		24	19	23	17	12	13	17	16	8	25
自 損 行 為		36	41	46	48	54	42	44	60	53	43
急 病		3,289	3,254	3,186	3,473	3,482	3,243	3,601	4,201	4,139	3,983
そ の 他	転 院 搬 送	1,078	1,066	1,061	1,228	1,235	1,041	1,030	1,075	1,193	1,295
	医 師 搬 送	0	0	0	26	45	47	19	1	0	3
	資 器 材 搬 送	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	そ の 他	16	16	35	32	32	14	33	33	20	14



(3) 事故種別の傷病程度別搬送人員

搬送人員の多い急病、交通事故、一般負傷の傷病程度割合

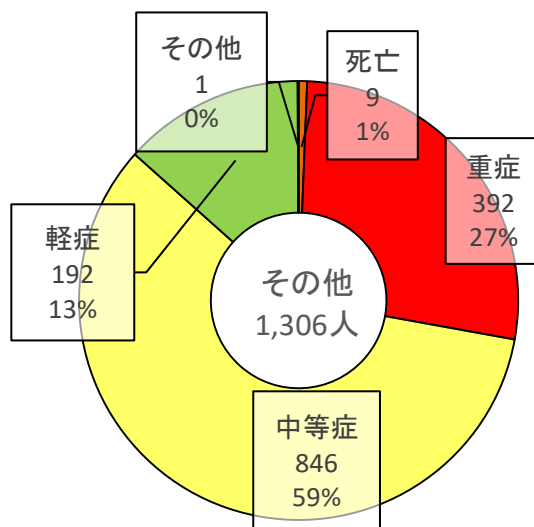
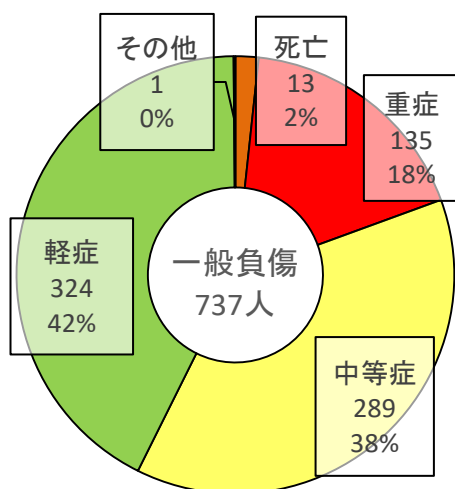
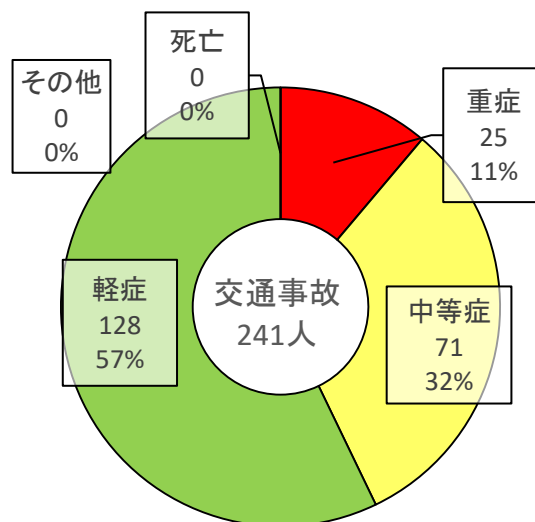
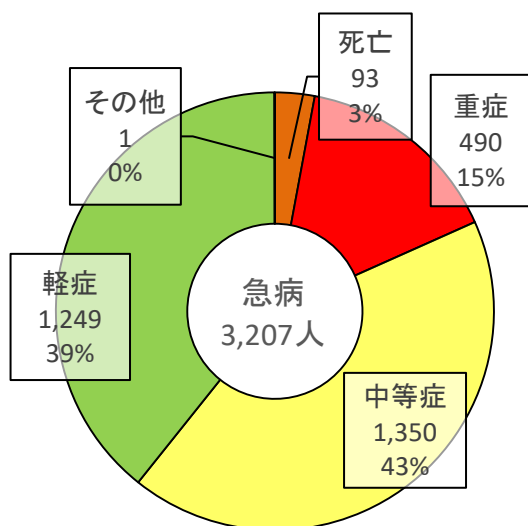
	死 亡	重 症	中等症	軽 症	その他	計
急 病	93	490	1,350	1,249	1	3,183
交通事故	0	25	71	128	0	224
一般負傷	13	135	289	324	1	762
そ の 他	9	392	846	192	1	1,440
計	115	1,042	2,556	1,893	3	5,609

死 亡 : 初診時に死亡が確認された者

重 症 : 3週間以上の入院が必要な者

中等症 : 3週間未満の入院が必要な者

軽 症 : 入院の必要がない者



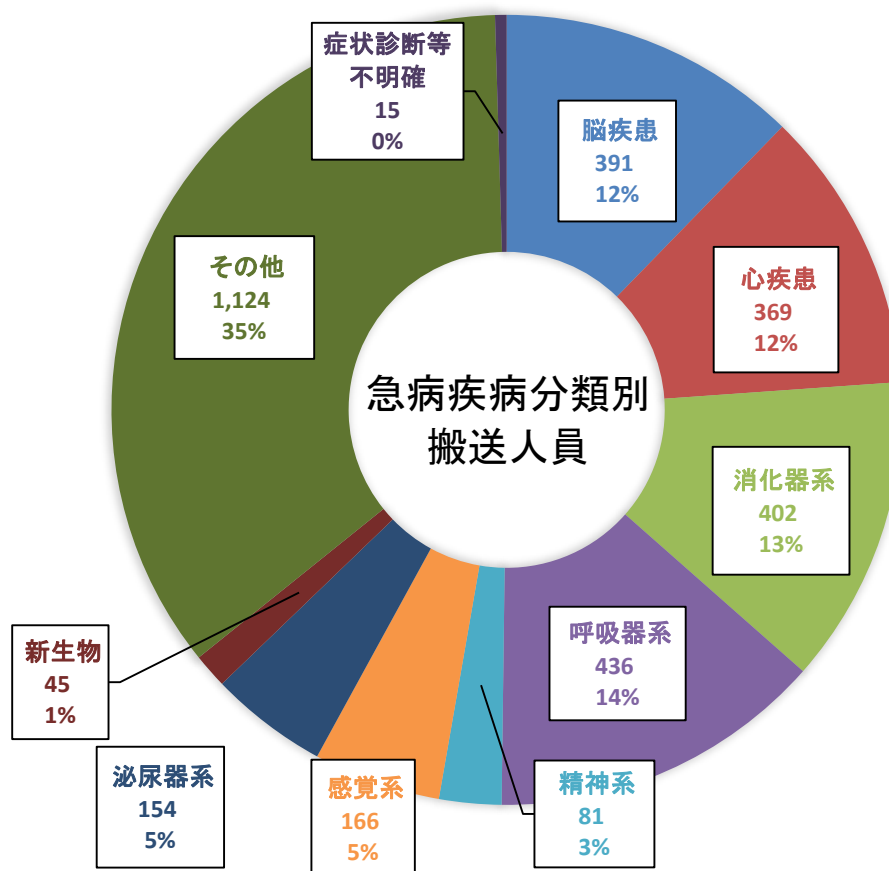
(4) 事故種別（急病）の疾病分類と年齢区分の搬送人員

①急病における疾病分類別の年齢区分別搬送人員

	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	計	構成比
脳疾患	0	1	1	73	316	391	12.3%
心疾患	0	0	2	64	303	369	11.6%
消化器系	0	1	8	104	289	402	12.6%
呼吸器系	0	7	12	69	348	436	13.7%
精神系	0	0	1	46	34	81	2.5%
感覚系	0	3	12	56	95	166	5.2%
泌尿器系	0	0	1	39	114	154	4.8%
新生物	0	0	0	6	39	45	1.4%
その他	0	85	39	222	778	1,124	35.3%
症状診断等不明確	0	1	0	3	11	15	0.5%
計	0	98	76	682	2,327	3,183	100%

※注:年齢区分は、次により分類する。

- (1)新生児：生後28日未満の者
- (2)乳幼児：生後28日以上満7歳未満の者
- (3)少年：満7歳以上満18歳未満の者
- (4)成人：満18歳以上満65歳未満の者
- (5)高齢者：満65歳以上の者

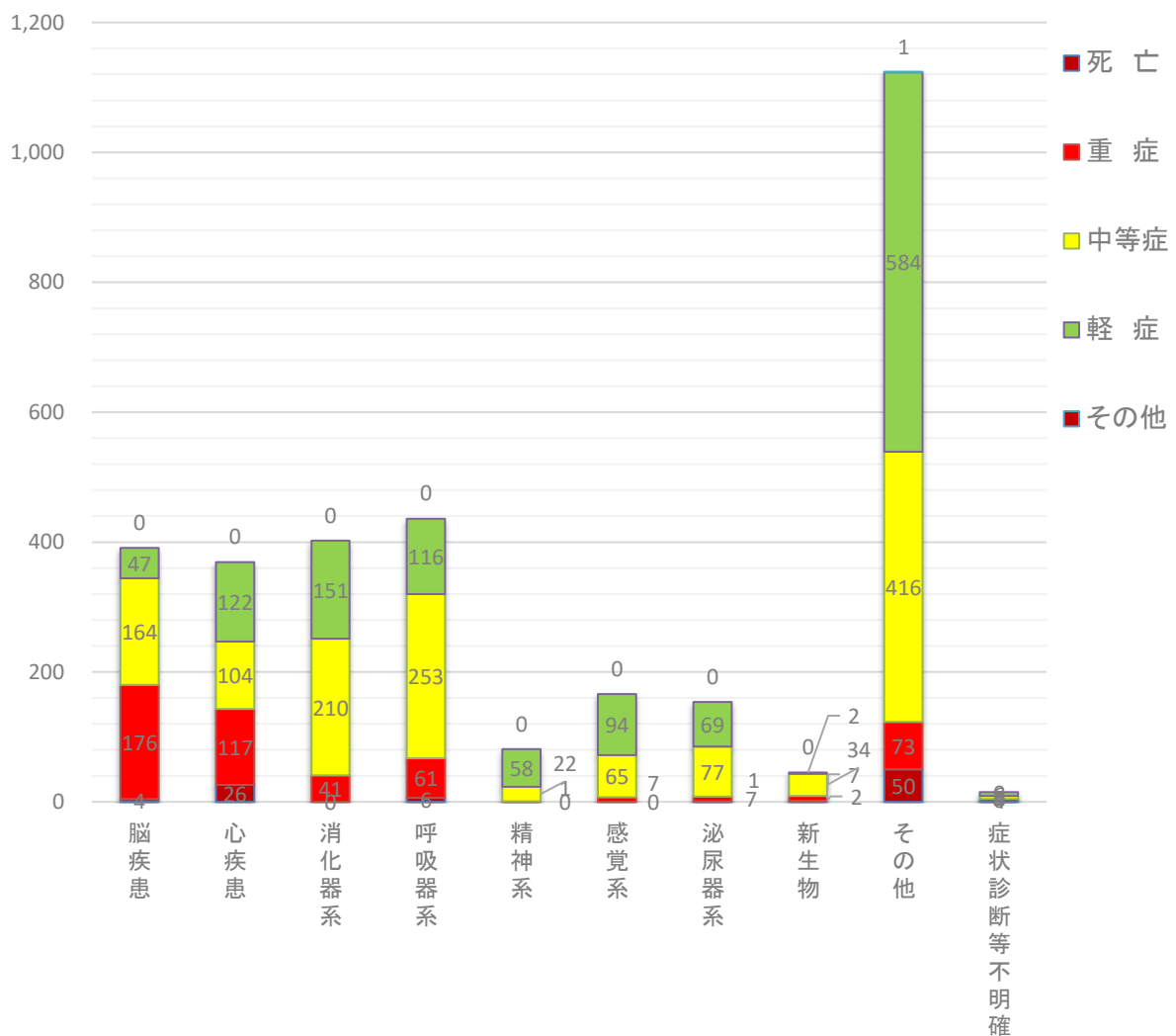


※割合の算出に当たっては、端数処理(四捨五入)のため合計が100%にならない場合がある。

② 急病における疾病分類別の傷病程度別搬送人員

	死 亡	重 症	中等症	軽 症	その他	計	構成比
脳 疾 患	4	176	164	47	0	391	12.3%
心 疾 患	26	117	104	122	0	369	11.6%
消 化 器 系	0	41	210	151	0	402	12.6%
呼 吸 器 系	6	61	253	116	0	436	13.7%
精 神 系	0	1	22	58	0	81	2.5%
感 覚 系	0	7	65	94	0	166	5.2%
泌 尿 器 系	1	7	77	69	0	154	4.8%
新 生 物	2	7	34	2	0	45	1.4%
そ の 他	50	73	416	584	1	1,124	35.3%
症状診断等不明確	4	0	5	6	0	15	0.5%
計	93	490	1,350	1,249	1	3,183	

※脳疾患においては、中等症以上の患者の割合が高くなっている。



2 年齢区分別の搬送人員

(1) 年齢区分別の搬送人員（対前年比）

	令和6年		令和5年		対前年比	
	出場件数	構成比(%)	出場件数	構成比(%)	増減数	増減率(%)
新 生 児	29	0.5	21	0.4	8	38.1
乳 幼 児	149	2.7	180	3.2	▲ 31	▲ 17.2
少 年	160	2.9	143	2.5	17	11.9
成 人	1,254	22.4	1,234	22.0	20	1.6
高 齢 者	4,017	71.6	3,913	69.8	104	2.7
計	5,609	100	5,491	98	118	2.1

(注) 年齢区分は、次により分類する。

- (1) 新 生 児 : 生後28日未満の者
- (2) 乳 幼 児 : 生後28日以上満7歳未満の者
- (3) 少 年 : 満7歳以上満18歳未満の者
- (4) 成 人 : 満18歳以上満65歳未満の者
- (5) 高 齢 者 : 満65歳以上の者

(2) 年齢区分別の傷病程度別搬送人員

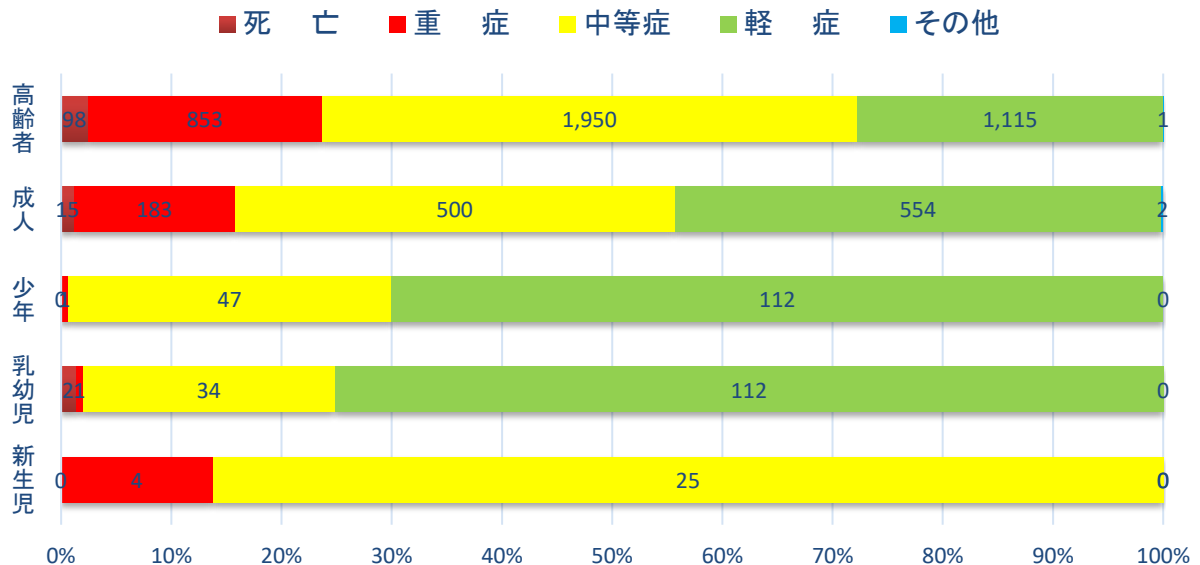
	死 亡	重 症	中等症	軽 症	その他	計
新 生 児	0	4	25	0	0	29
乳 幼 児	2	1	34	112	0	149
少 年	0	1	47	112	0	160
成 人	15	183	500	554	2	1,254
高 齢 者	98	853	1,950	1,115	1	4,017
計	115	1,042	2,556	1,893	3	5,609

死 亡 : 初診時に死亡が確認された者

重 症 : 3週間以上の入院が必要な者

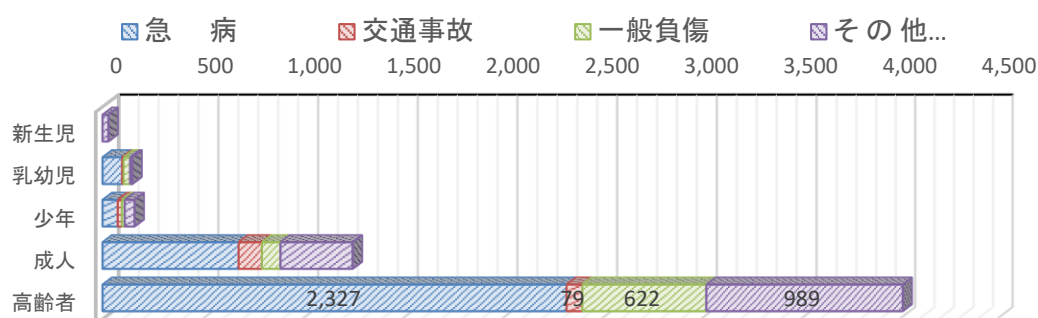
中 等 症 : 3週間未満の入院が必要な者

軽 症 : 入院の必要がない者



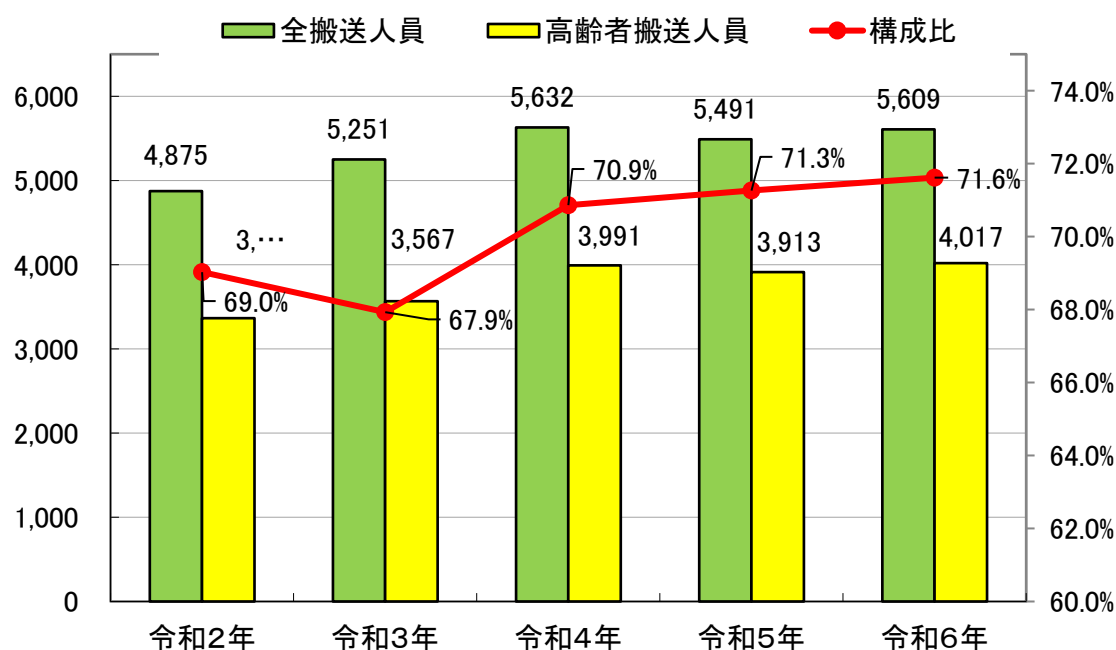
(3) 年齢区分別の事故種別搬送人員

	急 病	交通事故	一般負傷	その 他 (左記以外)	計
新 生 児	0	0	0	29	29
乳 幼 児	98	7	33	11	149
少 年	76	21	14	49	160
成 人	682	117	93	362	1,254
高 齢 者	2,327	79	622	989	4,017
計	3,183	224	762	1,440	5,609



(4) 高齢者（満65歳以上の者）の搬送人員の推移

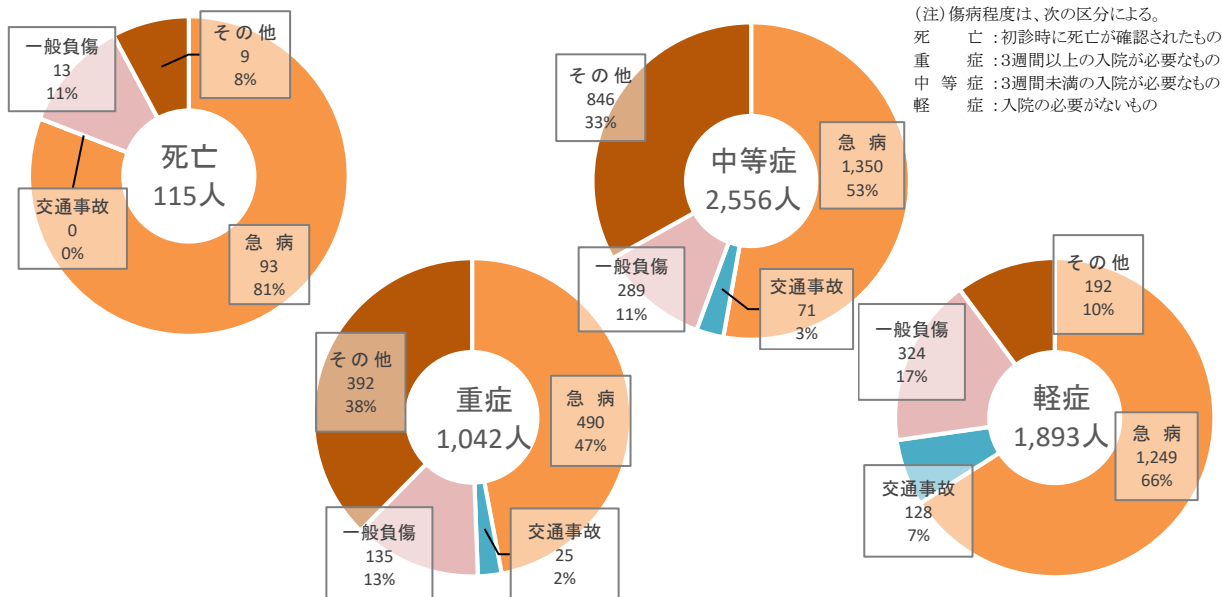
	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
全 搬 送 人 員	4,875	5,251	5,632	5,491	5,609
高齢者搬送人員	3,365	3,567	3,991	3,913	4,017
構 成 比	69.0%	67.9%	70.9%	71.3%	71.6%



3 傷病程度別の搬送人員

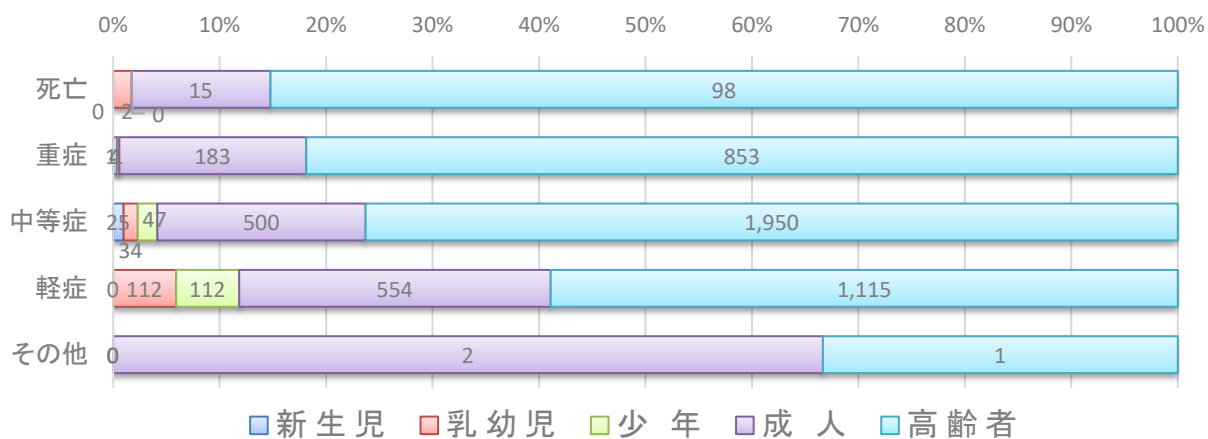
(1) 傷病程度別の事故種別搬送人員

	急 病	交通事故	一般負傷	そ の 他	計	構 成 比
死 亡	93	0	13	9	115	2.1%
重 症	490	25	135	392	1,042	18.6%
中 等 症	1,350	71	289	846	2,556	45.6%
軽 症	1,249	128	324	192	1,893	33.7%
そ の 他	1	0	1	1	3	0.1%
計	3,183	224	762	1,440	5,609	



(2) 傷病程度別の年齢区分別搬送人員

	新生児	乳 幼 児	少 年	成 人	高 齢 者	計	構 成 比
死 亡	0	2	0	15	98	115	2.1%
重 症	4	1	1	183	853	1,042	18.6%
中 等 症	25	34	47	500	1,950	2,556	45.6%
軽 症	0	112	112	554	1,115	1,893	33.7%
そ の 他	0	0	0	2	1	3	0.1%
計	29	149	160	1,254	4,017	5,609	100%



4 地区別の救急出場件数及び搬送人員

(1) 地区別の事故種別出場件数

		延岡市				自動車 専用道路 (高速道路も含む)	その他	計
		延岡	北方	北川	北浦			
事故種別	火災	22	1	0	0	1	0	24
	自然災害	5	0	0	0	0	0	5
	水難事故	9	0	0	0	0	0	9
	交通事故	241	10	6	2	18	0	277
	労働災害	44	1	6	6	0	0	57
	運動競技	42	0	1	0	0	0	43
	一般負傷	835	30	35	19	0	0	919
	加害	24	1	0	0	0	0	25
	自損行為	37	2	4	0	0	0	43
	急病	3,636	110	135	99	3	0	3,983
	その他	転院搬送	1,256	17	2	20	0	1,295
		医師搬送	3	0	0	0	0	3
		資器材搬送	0	0	0	0	0	0
		その他	12	1	0	1	0	14
	計	6,166	173	189	147	22	0	6,697

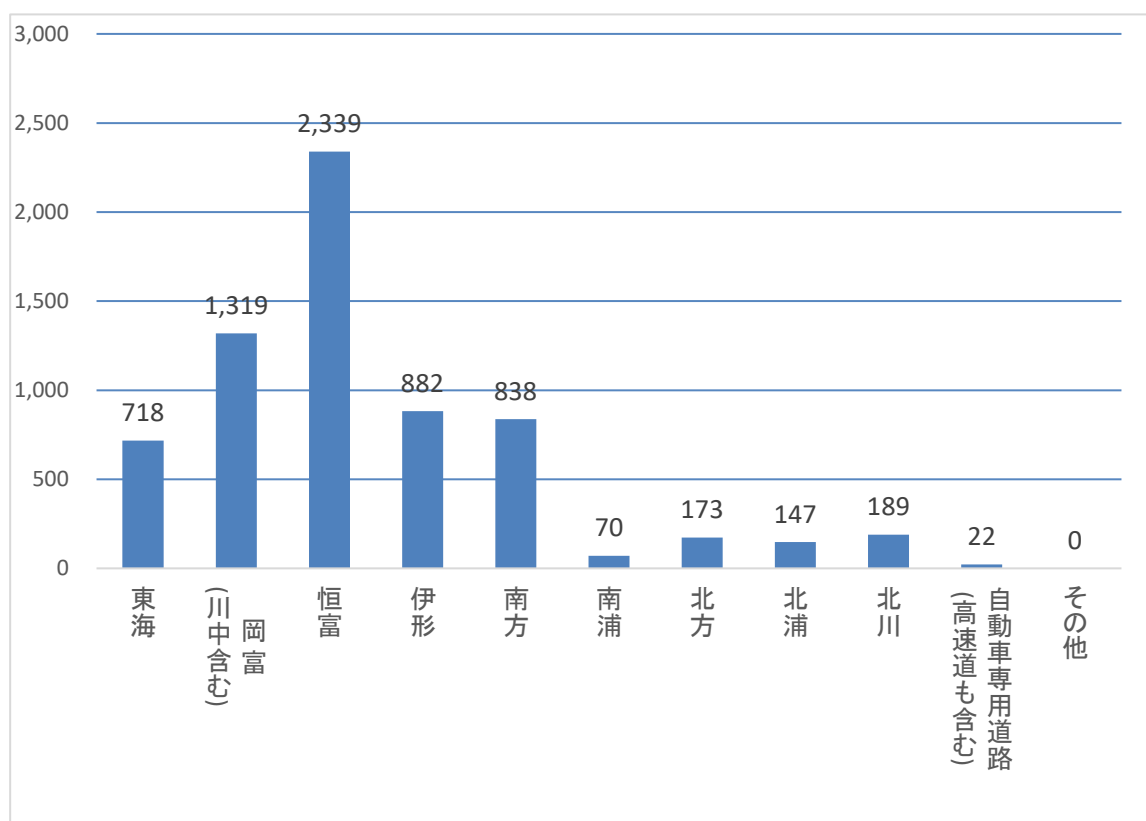
(2) 地区別の傷病程度別搬送人員

		延岡市				自動車 専用道路 (高速道路も含む)	その他	計
		延岡	北方	北川	北浦			
出場件数		6,166	173	189	147	22	0	6,697
搬送件数		5,141	140	168	133	8	0	5,590
不搬送件数		1,022	33	21	14	14	0	1,104
医師搬送・資機材搬送		3	0	0	0	0	0	3
搬送人員		5,158	140	169	133	9	0	5,609
傷病程度	死亡	106	1	4	4	0	0	115
	重症	951	27	30	34	0	0	1,042
	中等症	2,350	71	80	52	3	0	2,556
	軽症	1,750	40	54	43	6	0	1,893
	その他	1	1	1	0	0	0	3

(注) 傷病程度で「その他」は、その他の場所に搬送した者。(主に防災ヘリ搬送となります。)

(3) 地区別の救急出場件数

	東海	(川中 岡富 含む)	恒富	伊形	南方	南浦	北方	北浦	北川	(自動車専用道路 高速道も含む)	その他	合計
令和6年	718	1,319	2,339	882	838	70	173	147	189	22	0	6,697
	10.7%	19.7%	34.9%	13.2%	12.5%	1.0%	2.6%	2.2%	2.8%	0.3%	0.0%	100%
令和5年	763	1,280	2,331	891	803	64	209	146	171	16	1	6,675
	11.4%	19.2%	34.9%	13.3%	12.0%	1.0%	3.1%	2.2%	2.6%	0.2%	0.0%	100%
令和4年	780	1,265	2,214	890	865	65	193	208	205	17	0	6,702
	11.6%	18.9%	33.0%	13.3%	12.9%	1.0%	2.9%	3.1%	3.1%	0.3%	0.0%	100%
令和3年	659	1,104	2,011	809	750	55	149	162	184	13	0	5,896
	11.2%	18.7%	34.1%	13.7%	12.7%	0.9%	2.5%	2.7%	3.1%	0.2%	0.0%	100%
令和2年	580	1,067	1,920	703	664	58	174	149	162	9	0	5,486
	10.6%	19.4%	35.0%	12.8%	12.1%	1.1%	3.2%	2.7%	3.0%	0.2%	0.0%	100%



5 月別・曜日別、時刻別の救急出場件数及び搬送人員

(1) 月別の救急出場件数

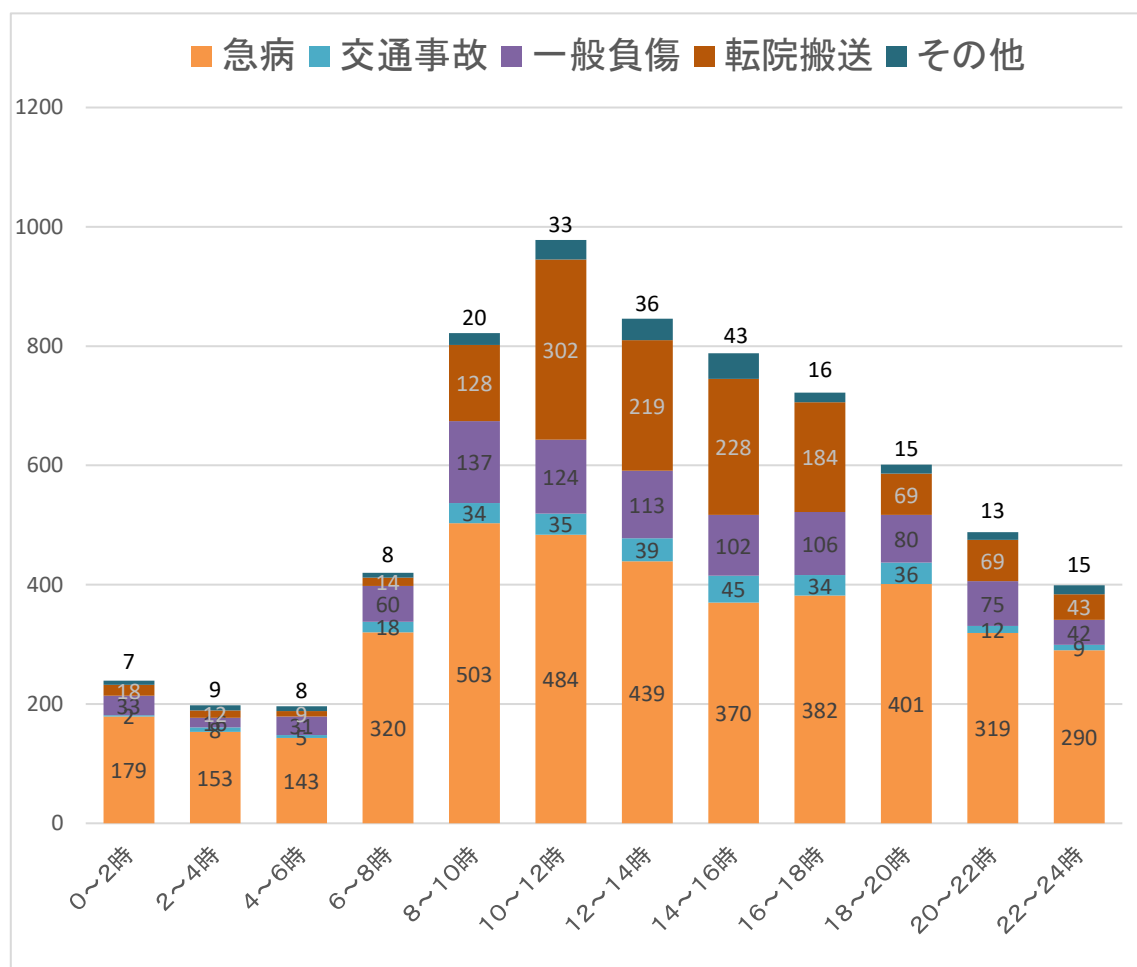
	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	医師搬送	その他	計
1月	1	0	2	32	8	3	95	1	6	359	117	3	1	628
2月	5	0	1	21	3	0	76	4	1	326	112			549
3月	1	1	0	12	2	3	90	3	5	257	109		2	485
4月	1	0	0	29	4	4	62	2	1	286	105		2	496
5月	4	0	0	20	4	0	65	2	2	321	123		2	543
6月	4	0	0	22	3	4	51	2	3	285	73			447
7月	0	0	0	26	6	10	75	2	6	473	95		1	694
8月	1	0	2	22	8	7	88	3	8	366	109		2	616
9月	1	0	0	19	6	6	60	0	3	324	112			531
10月	2	4	0	27	5	1	72	1	3	295	98			508
11月	2	0	4	20	4	2	75	4	5	302	89		3	510
12月	2	0	0	27	4	3	110	1	0	389	153		1	690
計	24	5	9	277	57	43	919	25	43	3,983	1,295	3	14	6,697

(2) 曜日別の救急出場件数

	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	医師搬送	その他	計
月 曜	4	0	0	52	8	3	119	5	6	609	221	2		1,029
火 曜	3	0	1	47	16	4	116	3	4	549	210		2	955
水 曜	5	3	4	39	8	2	140	2	6	574	191		1	975
木 曜	1	0	2	35	8	2	143	3	6	540	204		1	945
金 曜	4	1	1	29	9	5	133	1	10	596	225	1	4	1,019
土 曜	7	1	0	35	6	13	139	3	4	552	139		4	903
日 曜	0	0	1	40	2	14	129	8	7	563	105		2	871
計	24	5	9	277	57	43	919	25	43	3,983	1,295	3	14	6,697

(3) 時間帯別の事故種別救急出場件数

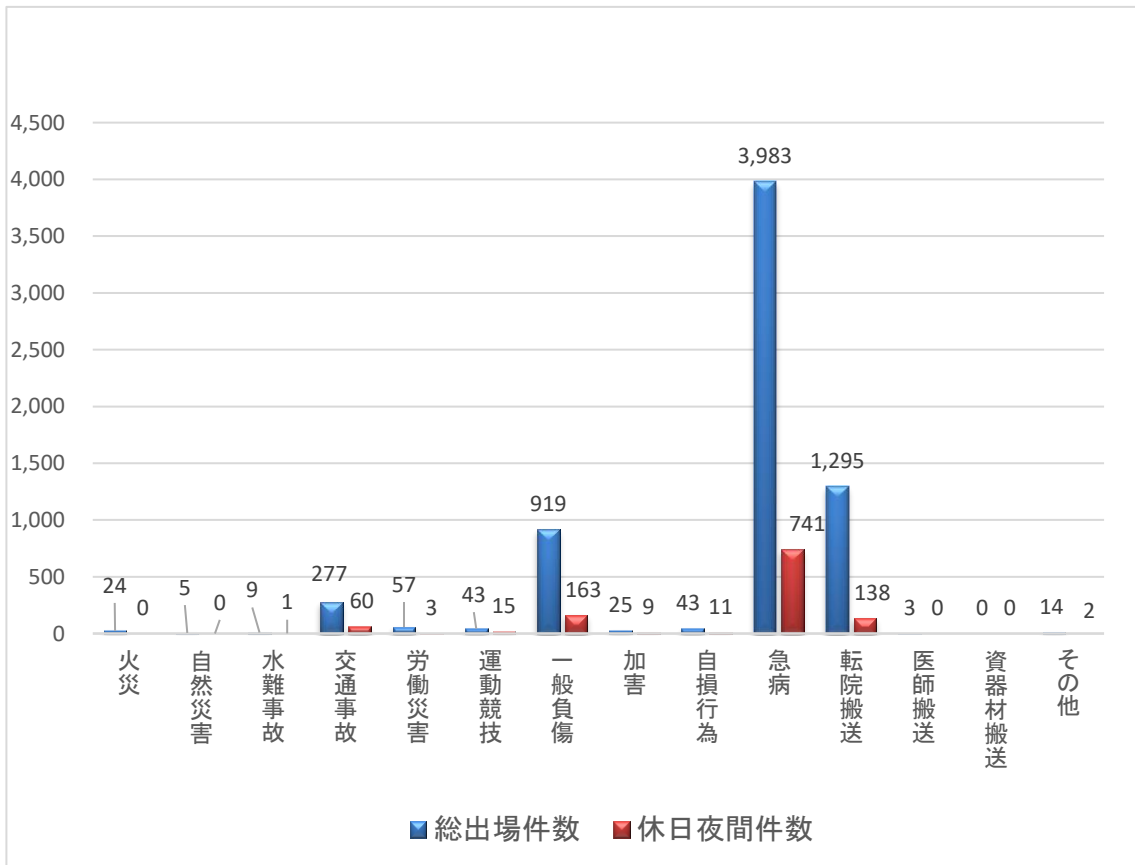
	急病	交通事故	一般負傷	転院搬送	その他	計
0～2時	179	2	33	18	7	239
2～4時	153	8	16	12	9	198
4～6時	143	5	31	9	8	196
6～8時	320	18	60	14	8	420
8～10時	503	34	137	128	20	822
10～12時	484	35	124	302	33	978
12～14時	439	39	113	219	36	846
14～16時	370	45	102	228	43	788
16～18時	382	34	106	184	16	722
18～20時	401	36	80	69	15	601
20～22時	319	12	75	69	13	488
22～24時	290	9	42	43	15	399
計	3,983	277	919	1,295	223	6,697



(3) 休日の活動状況

		出 場 件 数			搬 送 人 員		
		総 件 数	休日夜間件数	構成比	総 人 員	休日夜間件数	構成比
計		6,697	1,143	17.07%	5,609	930	16.58%
火 災		24	0	0.00%	2	0	0.00%
自 然 災 害		5	0	0.00%	1	0	0.00%
水 難 事 故		9	1	0.01%	4	1	0.02%
交 通 事 故		277	60	0.90%	224	46	0.82%
労 働 災 害		57	3	0.04%	55	3	0.05%
運 動 競 技		43	15	0.22%	42	14	0.25%
一 般 負 傷		919	163	2.43%	762	131	2.34%
加 害		25	9	0.13%	17	8	0.14%
自 損 行 為		43	11	0.16%	26	6	0.11%
急 病		3,983	741	11.06%	3,183	583	10.39%
そ の 他	転院搬送	1,295	138	2.06%	1,292	138	2.46%
	医師搬送	3	0	0.00%	0	0	0.00%
	資器材搬送	0	0	0.00%	0	0	0.00%
	そ の 他	14	2	0.03%	1	0	0.00%

休日とは、土曜、日曜、祝日の全時間帯をいう。



6 救急活動の内容

(1) 救急隊員の行った応急処置(医療機関等へ搬送するまでの処置)

	急 病	交通事故	一般負傷	そ の 他	計
対 象 人 員	3,180	224	761	1,432	5,597
止 血	5	8	30	12	55
固 定	20	132	149	37	338
人 工 呼 吸	34	0	3	9	46
胸 骨 圧 迫	4	0	0	0	4
心 肺 蘇 生	98	0	16	9	123
酸 素 吸 入	700	27	58	337	1,122
気 道 確 保	150	0	24	19	193
経鼻エアウェイ	2	0	0	0	2
喉頭鏡	49	0	13	4	66
☆ラリングアルマスク等	3	0	1	1	5
☆気管挿管	44	0	13	3	60
保 温	39	10	12	22	83
被 覆	19	49	138	21	227
在 宅 療 法	269	4	28	100	401
☆ 除 細 動	7	0	0	1	8
☆ 薬 剤 投 与	44	0	11	3	58
☆心肺停止前の静脈路確保	16	0	2	0	18
☆心肺停止後の静脈路確保	44	0	11	2	57
☆ 血 糖 測 定	61	0	1	0	62
☆ ブ ド ウ 糖 投 与	15	0	0	0	15
☆ エ ピ ペ ン 投 与	0	0	0	0	0
血 圧 測 定	2,992	215	715	1,365	5,287
聴 診 器	1,209	115	169	237	1,730
血中酸素飽和度測定	3,084	221	743	1,407	5,455
心 電 図	2,336	106	327	712	3,481
そ の 他 の 応 急 処 置	3,059	215	733	1,363	5,370
計	14,205	1,102	3,170	5,656	24,133

(注) ☆は、救急救命処置

【全救急救命士】(47名) 令和7年2月現在

○薬剤投与認定者(7名)

○気管挿管認定者(30名)

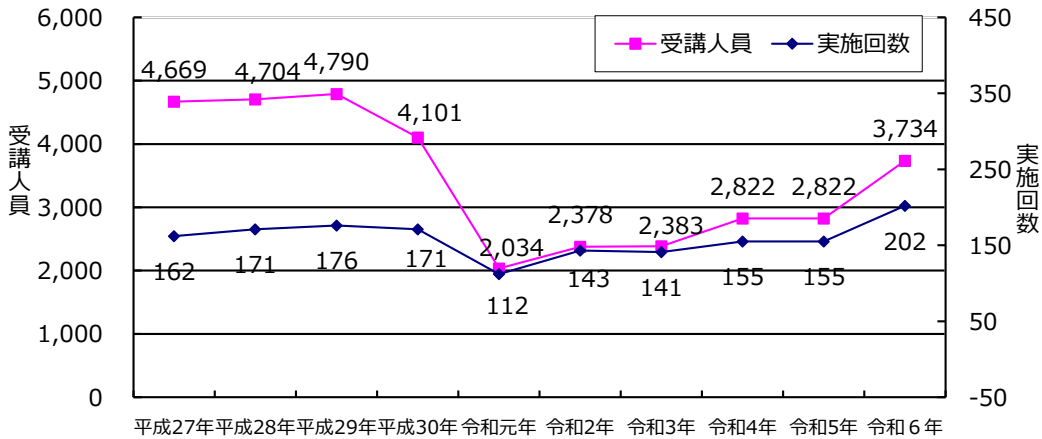
○新処置拡大認定者(38名)

○指導救命士(7名)

※認定資格については、個人で重複します。

7 応急手当の普及啓発

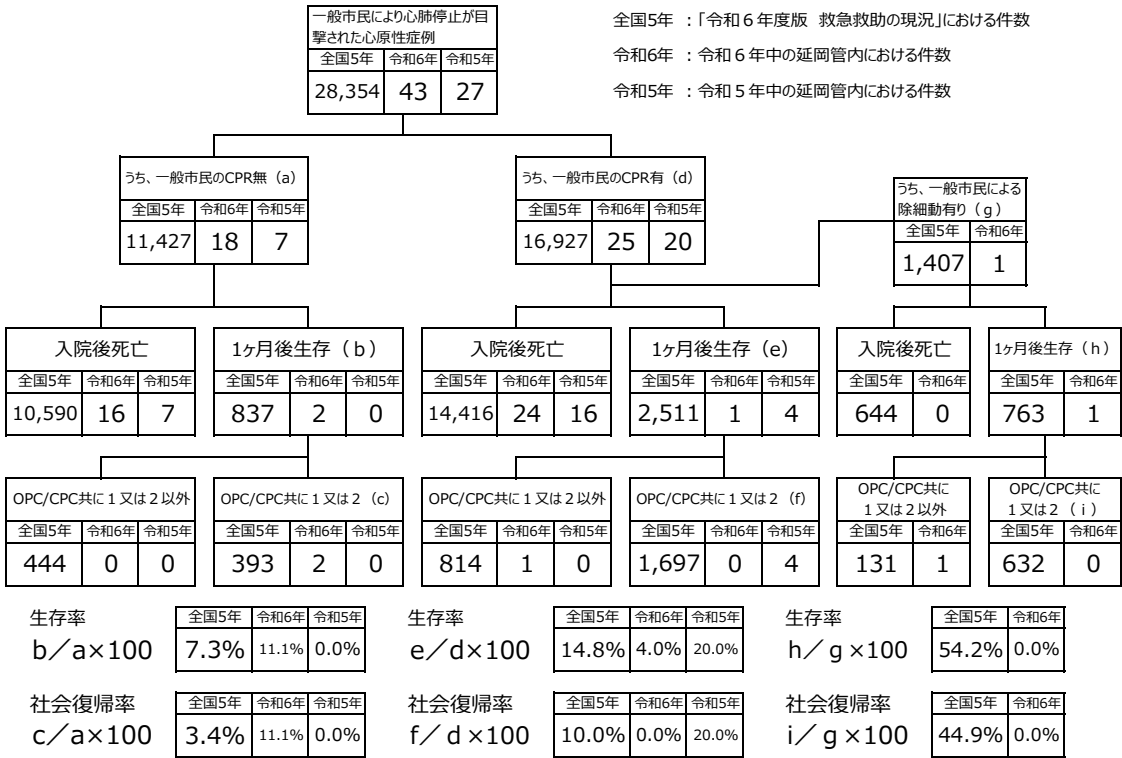
(1) 応急手当講習の実施状況



	対象者	実施回数	人員
救急入門コース	一般市民	158	3,084
普通救命講習Ⅰ	一般市民	39	629
上級救命講習	一般市民	2	9
普及員講習	一般市民	3	12
合計		202	3,734

(2) 救急蘇生統計

令和6年中の搬送人員における心肺停止患者の総数は123名で、2名が社会復帰をされました。下記の表は、心肺停止が目撃された心原性症例の社会復帰率となっています。(心原性:心臓が原因による心肺停止)



※社会復帰率 脳神経カテゴリー(CPC)、全身機能カテゴリー(OPC)が共に1又は2であった者の占める比率

◎脳神経カテゴリー(CPC)

①CPC1:機能良好 意識は清明、普通の生活・労働が可能。

②CPC2:中等度障害 意識あり。介助なしに着替え、炊事などの日常生活可能。

③CPC3:高度障害 意識あり。日常生活に介助を要する。

④CPC4:昏睡 昏睡、植物状態。意識レベルは低下。

⑤CPC5:死亡、若しくは脳死。

◎全身機能カテゴリー(OPC)

①OPC1:機能良好 健康で意識清明。正常な生活を営む。

②OPC2:中等度障害 意識あり。介助なしに着替え、炊事などの日常生活可能。

③OPC3:高度障害 意識あり。日常生活に介助を要する。

④OPC4:昏睡 昏睡、植物状態。意識レベルは低下。

⑤OPC5:死亡、若しくは脳死。

8 医療機関等への搬送状況

(1) 医療機関別搬送人員

		救急告示医療機関	その他の医療機関	合 計
国 立		34	0	34
公 立		2,461	0	2,461
公 的		35	0	35
私 的	病 院	1,305	516	1,821
	診療所	63	1,193	1,256
その他の場所		0	0	0
計		3,898	1,709	5,607

(注) 救急告示医療機関

- (1) 国 立 : 宮崎大学医学部附属病院・国立宮崎病院・国立宮崎東病院・大分大学医学部附属病院など
(2) 公 立 : 県立宮崎病院・県立延岡病院・熊本赤十字病院など
(3) 公 的 : 日向病院(門川町)など
(4) 私的病院 : 黒木病院・延岡共立病院・延岡市医師会病院・平田東九州病院
千代田病院(日向市)・和田病院(日向市)
宮崎市郡医師会病院(宮崎市)・社会保険宮崎江南病院(宮崎市)など
(5) 私的診療所: おがわクリニック あたご整形外科

(2) 診療科別搬送人員

	令和6年	令和5年	令和4年	令和3年	令和2年
内 科	2,152	1,913	1,736	1,518	1,555
循環器内科	110	62	71	59	83
外 科	558	554	494	413	408
整形外科	740	696	678	614	571
脳 外 科	206	219	186	239	289
神経内科	10	7	2	4	6
心臓外科	11	3	2	2	9
小 児 科	111	138	86	92	69
産 婦 人 科	114	105	121	134	138
泌尿器科	88	85	103	77	80
耳 鼻 科	7	15	12	17	11
精神科	31	40	42	37	45
皮膚科	28	9	3	10	2
救急科・麻酔科	1,215	1,631	2,064	2,016	1,592
眼 科	1	3	4	6	2
総合診療科	161	0	0	0	0
麻 酔 科	27	0	0	0	0
そ の 他	38	8	18	12	9
その他の場所	1	3	10	1	6
計	5,609	5,491	5,632	5,251	4,875

(3) 病院別搬送人員

※ 管轄内搬送人員 15 件以上の医療機関名等を掲載

あたご整形外科	104
大貫診療所	25
大崎整形外科	33
岡村病院	90
おがわクリニック	61
甲斐整形外科	36
延岡共立病院	460
黒木病院	177
県立延岡病院	2,422
県立延岡病院ドクターカー	29
桜ヶ丘ファミリークリニック	55
杉本病院	125
早田病院	102
谷村病院	126
長沼医院	24
延岡市医師会病院	172
延岡市夜間急病センター	342
延岡整形外科医院	66
延岡リハビリテーション病院	23
野村クリニック	25
平田東九州病院	478
平野消化器科	15
みぞくち医院	58
みやた内科医院	15
宮本整形外科医院	22
やなざわ整形外科・内科	22
いのうえ整形外科クリニック	15

吉田病院	15
米田脳神経外科	56
高見整形外科クリニック	18
くもん整形外科	20
石内医院	17
その他の医療機関（管内）	251
その他の場所（管内）	0
計（管轄内）	5,499

済生会日向病院	33
千代田病院	15
宮崎大学医学部附属病院	27
和田病院	3
田中病院	6
県立宮崎病院	5
高千穂町国民健康保健病院	4
協和病院	5
宮崎大学ドクターヘリ	5
大分大学医学部附属病院	1
宮崎江南病院	1
熊本大学医学部附属病院	1
鮫島病院	1
その他の医療機関（管外）	3
計（管轄外）	110

総 計	5,609
------------	--------------

(4) 不搬送の原因別出場状況

原 因	令和6年	令和5年	増 減	構成比
辞退（到着前）	18	14	4	1.6%
辞退（到着後）	829	915	▲ 86	74.9%
拒 否	38	54	▲ 16	3.4%
明らかな死亡	134	115	19	12.1%
他車（隊）搬送	7	7	0	0.6%
傷 病 者 な し	35	39	▲ 4	3.2%
誤報・いたずら	6	10	▲ 4	0.5%
そ の 他	40	45	▲ 5	3.6%
合 計	1,107	1,199	▲ 92	100%

※不搬送状況は、「辞退(到着後)」が76%、次いで「明らかな死亡」が約10%です。

(5) 病院問合せ平均回数

	回 数
令和6年	1.42回
令和5年	1.63回
令和4年	1.57回
令和3年	1.45回
令和2年	1.48回
令和元年	1.40回
平成30年	1.30回
平成29年	1.27回
平成28年	1.28回

※全搬送件数の平均値を算出したもの。

(6) 救急支援（P A連携）出場状況

	C P A	高層階	繁華街	加 害	防災ヘリ	ドクヘリ	高速道	交通事故	その他	計
1月	26	11	6	0	0	0	1	7	14	65
2月	27	7	8	3	0	0	0	2	9	56
3月	24	11	1	2	0	0	0	2	3	43
4月	12	9	5	1	0	0	1	5	9	42
5月	14	11	4	1	0	1	0	4	9	44
6月	24	6	1	1	0	0	0	3	2	37
7月	34	11	7	1	0	1	0	6	17	77
8月	21	13	7	0	0	0	0	3	9	53
9月	17	7	3	0	0	0	0	3	2	32
10月	25	4	3	0	0	1	1	5	13	52
11月	36	5	4	1	0	0	2	5	7	60
12月	48	11	6	1	0	0	0	7	18	91
計	308	106	55	11	0	3	5	52	112	652

※ その他の内訳は、救急隊のみでは活動困難な場合等となります。

(7) ドクターヘリ活動状況

令和6年ドクターヘリ消防別(管轄内)要請件数

機関名/月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
宮崎市消防局	3	1	2	2	0	3	7	5	2	3	2	0	30
都城市消防局	7	2	6	5	4	0	1	2	3	2	5	9	46
延岡市消防本部	2	0	3	3	5	3	4	4	9	3	6	11	53
日南市消防本部	3	1	0	1	0	1	2	2	1	0	2	2	15
日向市消防本部	3	0	2	2	2	5	4	6	1	2	2	4	33
串間市消防本部	2	2	5	3	4	1	6	5	2	2	3	3	38
西都市消防本部	0	1	3	1	3	2	0	2	2	0	2	1	17
東児湯消防本部	3	5	5	3	4	4	8	7	5	5	1	4	54
西諸広域消防本部	2	4	2	3	4	3	8	4	3	3	4	4	44
西米良村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
諸塚村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
椎葉村	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	3
椎葉村(上球磨消防署)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
美郷町	2	1	2	3	1	2	5	0	0	3	1	0	20
西臼杵消防本部	4	7	2	3	9	4	9	6	6	4	8	6	68
宮崎大学医学部附属病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮崎県DMAT調整本部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大隅曽於地区消防本部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	31	24	32	29	36	28	55	43	35	27	37	46	423

延岡市消防本部管轄における運航実績(病院間搬送含む)

	要請件数	現場出動	転院搬送	飛行前 キャンセル	飛行後 キャンセル	その他
1月	2	0	2	0	0	0
2月	0	0	0	0	0	0
3月	3	0	2	0	0	1
4月	3	0	2	0	1	0
5月	5	1	4	0	0	0
6月	3	0	3	0	0	0
7月	4	1	3	0	0	0
8月	4	0	3	0	0	1
9月	9	0	9	0	0	0
10月	3	0	2	0	0	1
11月	6	0	4	2	0	0
12月	11	2	9	0	0	0
計	53	4	43	2	1	3

(8) ドクターカー活動状況

平成30年4月18日から、宮崎県立延岡病院と連携してドクターカー(ピックアップ方式)の運用をしていましたが、令和3年4月19日より宮崎県立延岡病院に救急車型のドクターカーが配備され運用が始まりました。これにより、ドクターカーの現場到着時間短縮が図られるとともに、救急現場で重症傷病者に対する早期の医療介入が可能となりました。また、傷病者を搬送することも可能なため、救急隊は次の出動に早期に備えることができ、大きなメリットとなっています。

令和6年のドクターカー要請件数は122件、そのうち116件に出動しております。

県立延岡病院ドクターカー出場状況

延岡市消防本部要請 出動状況(令和5年1月1日～12月31日)

	火 災	自然 災害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他				キ ャ ン セ ル 出 動 前	合 計
											転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 機 材 搬 送	そ の 他		
1月	0	0	0	2	0	0	2	0	0	5	0	0	0	0	1	10
2月	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	3
3月	0	0	0	1	0	0	1	0	0	5	0	0	0	0	0	7
4月	0	0	0	2	1	0	1	0	0	4	0	0	0	0	0	8
5月	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	5
6月	0	0	0	1	0	0	1	0	0	10	1	0	0	0	1	14
7月	0	0	0	0	1	0	1	0	2	10	1	0	0	0	2	17
8月	0	0	0	3	2	0	1	0	0	6	0	0	0	0	2	14
9月	0	0	0	0	2	0	1	0	0	5	0	0	0	0	0	8
10月	0	0	0	2	0	0	2	0	0	4	0	0	0	0	0	8
11月	0	0	0	0	3	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	9
12月	0	0	0	1	1	0	4	0	0	12	1	0	0	0	0	19
	0	0	0	13	12	0	15	0	2	70	4	0	0	0	6	122

第3章 令和6年の救助活動概要

令和6年の救助件数は、昨年と比較すると増加しており、出場件数83件(12件増)救助活動件数59件(10件増)、救助人員63人(9人増)であった。

第1表 救助出場・活動件数及び救助人員の推移

	救助出場件数		救助活動件数		救助人員	
	件数	対前年増減率(%)	件数	対前年増減率(%)	人員	対前年増減率(%)
平成30年	48		29		28	
令和元年	86	79.2%	45	55.2%	48	71.4%
令和2年	74	-14.0%	47	4.4%	50	4.2%
令和3年	44	-40.5%	34	-27.7%	36	-28.0%
令和4年	77	75.0%	52	52.9%	57	58.3%
令和5年	71	-7.8%	49	-5.8%	54	-5.3%
令和6年	83	16.9%	59	20.4%	63	16.7%

第4章 令和6年の救助活動状況

1 事故種別ごとの救助出場件数及び救助人員

事故種別の救助出場件数をみると、その他の事故の発生割合が最も多い。次いで、交通事故、建物事故が多く、例年同様上記3種別が発生件数の大半を占めている。

救助人員については、その他の事故が21人(33.3%)と占める割合が多く、次いで、交通事故が17人(26.9%)、建物事故が12人(19.0%)の順となっている。

第2表 事故種別ごとの救助活動状況

	火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械事故	建物事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故
救助出動件数	1	25	7	3	2	18	0	0	27
救助活動 有り	1	15	7	3	0	12	0	0	21
救助活動 無し※	0	10	0	0	2	6	0	0	6
救助人員	1	17	8	4	0	12	0	0	21

※「救助活動 無し」には、途中帰署を含む。

○事故種別は、次により区分している。

「火災」とは、火災現場において、直接火災に起因して生じた事故をいう。

「交通事故」とは、すべての交通機関相互の衝突及び接触又は単一事故若しくは歩行者等が交通機関に接触したこと等による事故をいう。

「水難事故」とは、水泳中の溺者又は水中転落等による事故をいう。

「自然災害」とは、暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火、雪崩、地すべりその他の異常な自然現象に起因する災害による事故をいう。

「機械による事故」とは、エレベーター、プレス機械、ベルトコンベアその他の建設機械、工作機械等による事故をいう。

「建物事故」とは、建物、門、柵、へい等建物に付帯する施設又はこれらに類する工作物の倒壊による事故、建物等内に閉じ込められる事故、建物等に挟まれる事故等をいう。

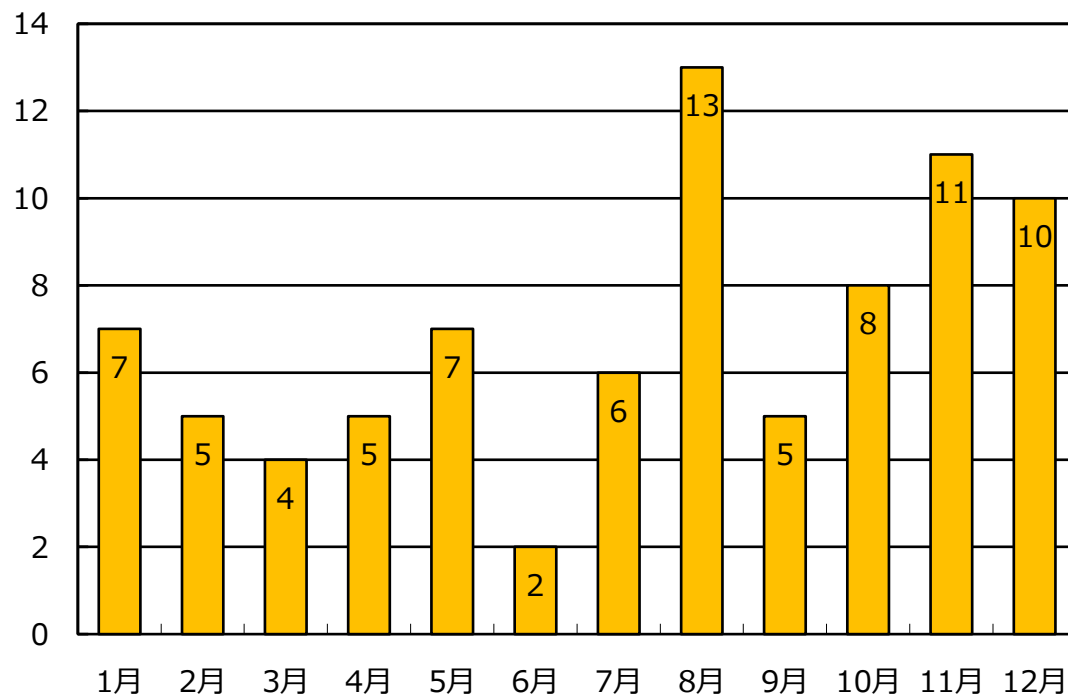
「ガス及び酸欠事故」とは、一酸化炭素中毒その他のガス中毒事故、酸素欠乏による事故等をいう。

「破裂事故」とは、火災事故以外のボイラー、ボンベ等の物理的破裂による事故をいう。

「その他の事故」とは、上記に掲げる事故以外の事故で、消防機関による救助を必要としたものをいう。

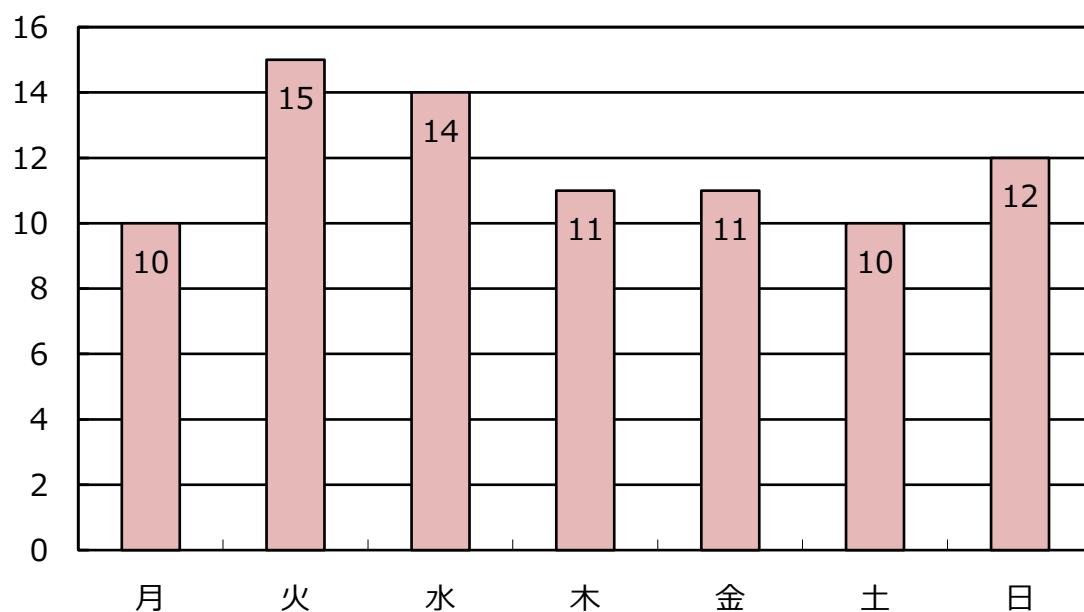
2 月別の救助出場件数

救助出場を月別に見ると、8月13件、次いで11月が11件と多かった。



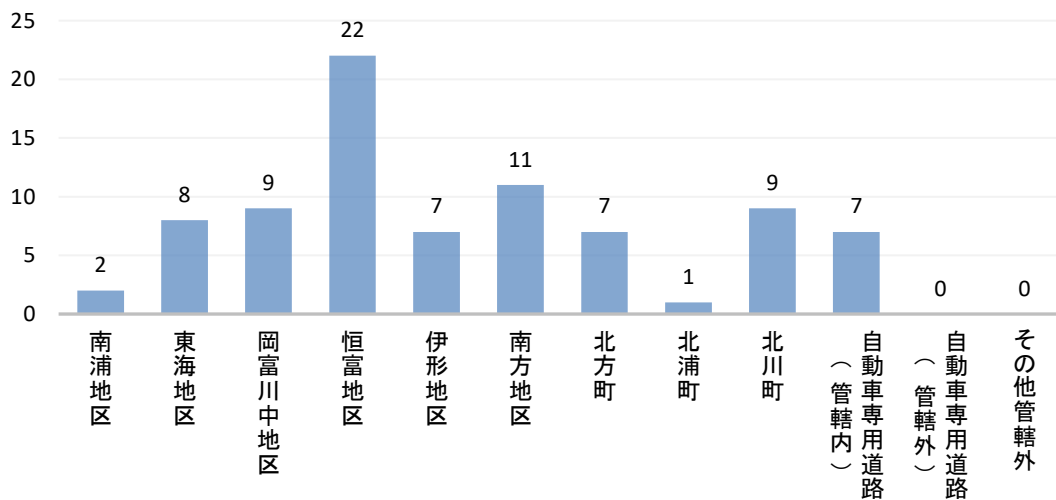
3 曜日別の救助出場件数

火曜日が最多の15件、次いで水曜日が14件、最少が月曜日、土曜日の10件であった。



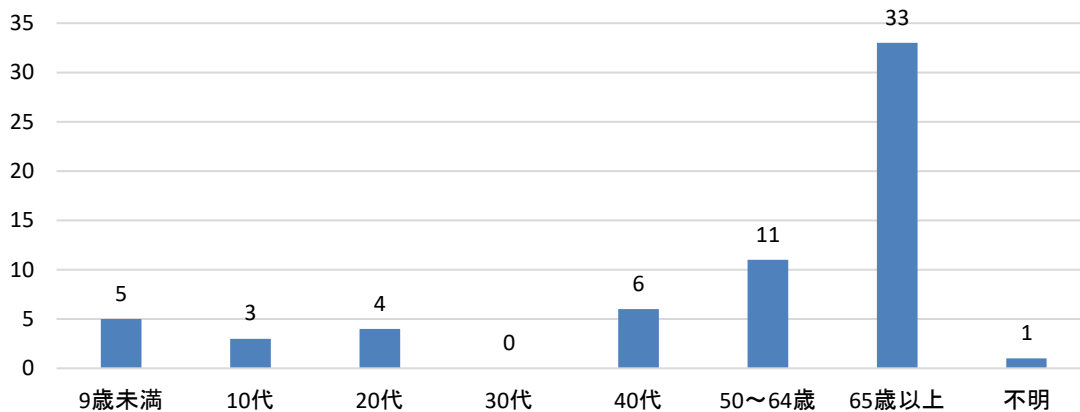
4 地区別の事故種別救助出場件数

	火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械事故	建物事故	酸ガス欠事故及び	破裂事故	その他	計
南 浦 地 区				1					1	2
東 海 地 区		2	1			3			2	8
岡 富・川 中 地 区	1	3	1			3			1	9
恒 富 地 区		8	1	2	1	8			2	22
伊 形 地 区			2			2			3	7
南 方 地 区		2	2			1			6	11
北 方 町		2				1			4	7
北 浦 町					1					1
北 川 町		1							8	9
自動車 専用道路	管轄内	7								7
	管轄外									0
その他管轄外										0
合 計	1	25	7	3	2	18	0	0	27	83



5 年齢別の要救助者数

要救助者を年齢別にみると、65歳以上の高齢者が33人で、全救助者数63人のうち、およそ52.3%を占めている。





令和6年度緊急消防援助隊九州合同ブロック訓練(長崎県)



令和6年度救急フェア



令和6年度水防訓練